国立成育医療研究センター アレルギーセンター

「小児アレルギー診療短期重点型教育研修プログラム」 参加者募集

近年の小児科診療において、多様なアレルギー疾患に対する適切な診断と管理の重要性はますます増加しています。2015 年に施行されたアレルギー疾患対策基本法の中で国立成育医療研究センターは国の中心拠点病院として、医療従事者の人材育成を推進するための施策をすすめてまいりました。その中で、当センターでは 2013 年度より全国の小児科専門医を対象としたアレルギー診療に関する短期教育研修プログラムを開催し、昨年度までに約 200 名の先生方にご参加いただきました。
当センターの「小児アレルギー診療短期重点型教育研修プログラム」は最新の知見と参加された先生方のご意見やニーズを反映し、毎年リニューアルを重ねております。本年度も小児のアレルギー診療に熱意のある先生方のご参加を心よりお待ちいたしております。

【応募資格】

1. 食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、喘息、食物蛋白誘発胃腸症、薬物アレルギーなどの小児アレルギー疾患について適切な診断法、最新のエビデンスに基づいた診療技術を獲得する意志があること
2. 小児を診療する機会がある医師であること（小児科専門医相当の一般臨床能力を有すること）
（ご希望多数の場合、卒後 5 年目以降 20 年以内の先生方のご都合を優先させて頂く場合がございます）
3. 研修プログラム全日程への参加が可能であること
4. 研修プログラム参加後、研修成果に係る調査にご協力頂けること

【研修施設】 国立研究開発法人 国立成育医療研究センター病院
【募集人数】 20 名程度
【研修日数】 10 日間（連続 2 週間）もしくは 5 日間（1 週間）
【研修日時】 平日（月～金曜日） 8:30-17:30
【研修期間】 現在のところ下記の通り予定していますが、諸状況により変更の可能性があります。
ホームページにて、最新の受付状況をご確認ください。

① 2026/6/29	（月）	～	2026/7/10	（金）	10 日間
② 2026/7/13	（月）	～	2026/7/17	（金）	5 日間
③ 2026/7/27	（月）	～	2026/7/31	（金）	5 日間
④ 2026/8/17	（月）	～	2026/8/28	（金）	10 日間
⑤ 2026/9/7	（月）	～	2026/9/18	（金）	10 日間
⑥ 2026/9/28	（月）	～	2026/10/9	（金）	10 日間
⑦ 2026/11/9	（月）	～	2026/11/20	（金）	10 日間
⑧ 2026/12/14	（月）	～	2026/12/18	（金）	5 日間
⑨ 2027/1/25	（月）	～	2027/1/29	（金）	5 日間
⑩ 2027/2/1	（月）	～	2027/2/5	（金）	5 日間
予備 2027/3/1	（月）	～	2027/3/12	（金）	10 日間

【到達目標】

＜食物アレルギー＞

1. 問診・血液検査・皮膚テストを実施し、除去食の不要な患者への食事指導ができる。
2. 複数患者に対する食物経口負荷試験を実施できる。
3. 食物経口負荷試験の結果に基づき除去食の段階的な解除指導ができる。

＜アトピー性皮膚炎＞

1. アトピー性皮膚炎の診断基準について説明でき、重症度を評価できる。
2. アトピー性皮膚炎に対し必要なツールを準備しスキンケア指導ができる。
3. プロアクティブ療法を理解し実践できる。
4. ステロイド外用薬、その他の外用薬、生物学的製剤の適応と使用法について理解する。

＜気管支喘息・アレルギー性鼻炎＞

1. 気管支喘息の定義・診断基準・鑑別疾患について説明でき、重症度を評価できる。
2. 呼吸機能検査を正しく実施し、管理指導に応用できる。
3. JPGL に従った治療・管理（長期管理薬の選択、環境整備、吸入デバイスの選択）ができる。
4. 舌下免疫療法が実践できる。

＜食物蛋白誘発胃腸症＞

1. 食物蛋白誘発胃腸症（FPIES など）の診断法や鑑別疾患について説明できる。
2. 食物蛋白誘発胃腸症の食物経口負荷試験の方法について理解する。
3. 食物蛋白誘発胃腸症の管理法について理解する。

＜薬物アレルギー＞

薬物アレルギーの評価の流れを説明し、方針を立てることができる。

＜チーム医療＞

PAE（pediatric allergy educator）をはじめとした多職種の役割について理解する。

【研修内容】

食物経口負荷試験の実践（IgE 依存性食物アレルギー、食物蛋白誘発胃腸症）
皮膚テスト（プリックテストなど）
食物アレルギーの初診外来・患者教育
アトピー性皮膚炎の初診外来・患者教育、スキンケア指導
アドレナリン自己注射の患者指導
呼吸機能検査、気道可逆性試験、気道過敏性試験、呼気一酸化窒素測定
舌下免疫療法の患者指導
担当医による講義カンファレンス・回診・抄読会参加

＊ 全日程参加により、日本アレルギー学会専門医制度規定の専門医育成のための教育研修第 32 条（3）「「指導医」または「専門医」の外来見学実習を10時間以上受講する」の項目が認められます。

＊ 上記の研修目標・内容が 10 日間の研修で達成できるプログラムとなっておりますので、短縮版の 5 日間の研修では、上記の研修内容の一部が動画視聴等に変更になることがあります。

＊ 研修終了時に、「修了書」をお渡しします。

【研修費】 １日あたり5,500円（都道府県拠点病院からお申込みの場合には別途ご案内いたします）

＊ 研修費は、終了後に、貴施設宛て請求させて頂きます。

＊ 交通費・宿泊費などはご負担をお願いしております。

【宿泊施設】

＊ 研修者用宿泊施設（敷地内 3,000 円/日）のご利用が可能ですが、ご参加希望多数の場合、ご希望に沿えないことがございます。早めにお申し込みください。

＊ 宿泊施設のご利用につきましては、研修日程決定後に詳細をご案内いたします。

【応募方法】 下記 1～4 の書類を一括してご郵送ください。

1. 履歴書（書式自由） 写真貼付のうえ、職歴・取得資格を含めてご記載ください。
2. 医師免許証のコピー
3. 推薦状（書式自由） 宛先は研修責任者とし、推薦者による自筆署名をお願いいたします。

研修責任者：国立成育医療研究センターアレルギーセンター総合アレルギー科診療部長 福家辰樹

推　薦　者：勤務医）所属施設の医長・部長などの上司

開業医）地方医師会役員・連携する医療機関の医師など

4. 研修受講願書 指定の書式に、入力または手書きでご記載ください。
5. その他 選考後、胸部X線検査実施状況、抗体価検査結果、ワクチン実施状況証明のご提出をお願いすることがあります。

【申込期間】 2026 年３月 ～ 各期間の**開始日８週間前まで**（消印有効）

【選考方法】 応募者多数の場合は、研修期間を相談させて頂くことがあります

【書類送付先】 〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

国立研究開発法人 国立成育医療研究センター病院

アレルギーセンター総合アレルギー科

「小児アレルギー診療短期重点型教育研修プログラム」事務局（担当：豊國）

【研修責任者】 アレルギーセンター総合アレルギー科診療部長 福家 辰樹

【問い合わせ先】 担当部署）アレルギーセンター　e-mail：allergy@ncchd.go.jp

担当医師）豊國

担当事務）早瀬

＊ 応募書類はメール添付送信でなくご郵送下さい